

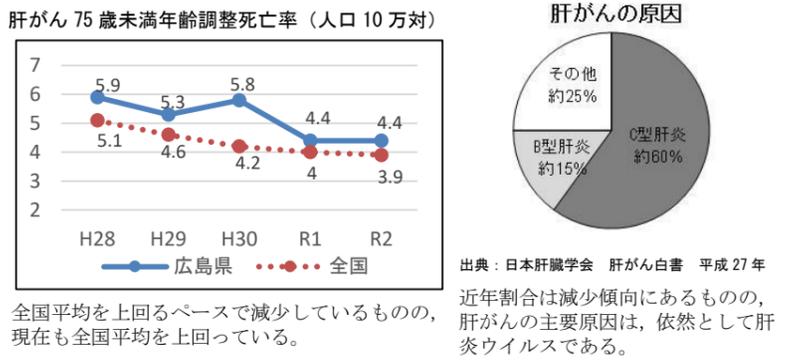
第4次広島県肝炎対策計画の骨子（素案）について

第4次計画の概要

趣旨

現行の第3次広島県肝炎対策計画（平成29年3月策定）の計画期間が令和4年度（令和3年度に1年間期間延長）をもって終了することから、これまでの取組の成果や社会情勢の変化等を踏まえ、第3次広島県肝炎対策計画の3つの基本施策を継承しつつ、これまでの肝炎ウイルス陽性者の早期発見・早期治療の取組に加え、肝疾患コーディネーターの効果的な活用及び偏見・差別の解消を含めた肝炎に関する正しい知識の普及啓発などの新たな取組により、対策を強化する計画を策定します。

現状



目指す姿

目標達成のためには、肝炎の早期治療により、肝硬変、肝がんへの進行を防止する必要があることから、次のような社会を目指します。

県民全てが肝炎について正しい知識を持ち、予防・検査・治療及び偏見・差別の解消等の肝炎対策に主体的に取り組んでいる。

全体目標

本県の肝がん75歳未満年齢調整死亡率（R2）は全国ワースト第11位と高い（全国平均より高い）ことから、肝がんにより死亡する県民の減少を目指します。

肝がんの年齢調整死亡率を全国平均以下とする。

計画の位置付け

- 「肝炎対策基本法」第4条の規定に基づく県の肝炎対策の基本的施策を体系的に示す基本計画です。
- 第3次広島県肝炎対策計画の成果と課題を踏まえ、令和4年3月7日に改正された、国の「肝炎対策の推進に関する基本的な指針（平成23年厚生労働省告示第160号）」を基本として策定します。
- 計画の策定に当たっては、既存の保健・医療等の関連計画との調和を図ります。

計画期間

令和5年度～令和9年度（5年間）

計画の進行管理

「広島県肝炎対策協議会」において、毎年度、施策の実施状況を把握し、達成目標をPDCAサイクルにより検証します。

第4次計画における取組の方向性

基本施策	現状と課題	施策体系	重点目標（指標）	具体的取組																																
① 身に付けよう・肝炎に関する正しい知識の普及啓発	◆県民の感染予防に関する知識度 40.4%【H30】→41.3%【R2】 【課題】 (1)肝がん死亡の主要原因は依然としてB型・C型肝炎ウイルス（HBV、HCV）であるが、感染予防に関する正しい知識の普及啓発が必要である。 (2)肝炎ウイルスは感染しても自覚症状に乏しく、感染後は気が付かないうちに慢性肝炎から肝硬変、肝がんへと病態が進行することがあり、感染を認識しても早急な治療の必要性を認識しにくい。 (3)成人期に感染しても慢性化しやすい、ジェノタイプAのHBVによる急性肝炎の感染事例が増加など、HBV感染者数は増加傾向にある。 (4)ピアスの穴開けやいわゆるアートメイク等の血液の付着する器具の共有に伴う感染リスクへの認識が不十分である。 (5)肝炎ウイルスに対する誤った認識があるため、肝炎患者やその家族等が不当な差別や偏見を受けることがある。	1 対象者及び目的別の効果的な啓発の実施 2 感染予防及び偏見・差別の解消のための取組 3 肝疾患相談体制の整備	①肝炎ウイルスに関する正しい知識の普及率（感染予防、偏見・差別）	○県民への啓発 ○若年層（教育委員会と連携）、高齢者を対象とした普及啓発 ○ハイリスク集団への啓発 ○肝臓週間・日本肝炎デーに併せた普及啓発 ○職域への啓発 ○感染予防及び偏見・差別解消のための正しい知識の普及啓発 ○国の「知って、肝炎プロジェクト」と連携した普及啓発 ○B型ワクチンの定期接種の推進 ○患者団体との連携による普及啓発 ○C型肝炎患者のインターフェロンフリー治療の推進 ○ひろしま肝疾患コーディネーターの効果的な活用 ○肝疾患相談室の継続設置 ○肝疾患相談に係る相談窓口の広報																																
	② 受けよう・知ろう…肝炎ウイルス検査の受検促進と検査結果の適切な理解	◆肝炎ウイルス検査の受検率【厚生労働省及び県調査】 41.2%【H28】→48.9%【R2】（認識受検率） ◆肝炎ウイルス検査を受けていない理由 【H29厚生労働省調査】 検査を受けていない理由として、38.2%の者が「きっかけがなかったから」、35.3%の者が「定期的に受けている健康診断等のメニューにないから」と回答。54.1%の者が定期的に受ける健康診断のメニューに加えれば受けたいと回答。 ◆肝炎ウイルス検査の普及啓発を実施している健保組合の割合【県調査】 13.3%【H27】→52.9%【R1】 【課題】労働安全衛生法上の定期検査項目に肝炎ウイルス検査がないため、職域における肝炎ウイルス検査の実施率が低く、検査の必要性に関する啓発が不十分である。 ◆行政による肝炎ウイルス検査と手術前肝炎ウイルス検査（令和元年 広島県）行政検査：22,613件、手術前検査：149,471件（HBs抗原）／171,236件（HCV抗体） 【課題】行政検査より検査件数が大幅に多い手術前検査において、検査結果が必ずしも患者に適切に伝えられていない。	1 肝炎ウイルス検査の受検機会の提供 2 肝炎ウイルス検査結果に対する適切な説明と理解 3 肝炎ウイルス検査の必要性に関する広報	②肝炎ウイルス検査の受検率 ③肝炎ウイルス検査の普及啓発を実施している健康保険組合の割合	○保健所及び委託医療機関での特定感染症検査等事業による肝炎ウイルス検査実施 ○市町の健康増進法（健康増進事業）による肝炎ウイルス検査の実施及び個別勧奨メニューの追加を依頼 ○職域における肝炎ウイルス検査体制の整備 ○啓発資材の活用による手術前検査を受けた患者に対する適切に結果説明の必要性について医療機関へ周知 ○検査記録カード等を活用した肝炎ウイルス検査結果の適切な説明と受検者への理解の推進 ○職域におけるプライバシーを配慮した適正な通知に関する周知 ○事業主、企業の健康管理担当者、医療保険者等と連携し、職域において、受検勧奨が行われるような取組の実施 ○がん検診、特定健診との連携 ○健康サポート薬局及びひろしま肝疾患コーディネーターによる受検勧奨 ○肝疾患相談室と連携した未受検者への働きかけ																															
	③ 行こう・続けよう…精密検査受診と継続受診	◆インターフェロンフリー治療受給者証発行件数 <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> <tr> <td>件数</td> <td>797件</td> <td>536件</td> <td>488件</td> <td>325件</td> </tr> </table> ◆肝疾患患者フォローアップシステム（FUS）登録者の継続受診（受診確認）率（R2年度：県調査） <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>対象者数</th> <th>受診確認者数</th> <th>受診確認率</th> </tr> <tr> <td></td> <td>2,684人</td> <td>897人</td> <td>33.1%</td> </tr> </table> 【課題】FUS登録者のうち約2/3の者について、継続的な受診確認ができていない。また、ウイルス排除率が100%近いインターフェロンフリー治療が進展したが、治療後の経過観察のために必要な継続受診を中断する者が多い。 ◆肝疾患コーディネーター（肝疾患Co）養成数等（R3年度） <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>新規養成</th> <th>継続研修</th> </tr> <tr> <td></td> <td>117人</td> <td>261人（うち活動者割合：55.0%）</td> </tr> </table> 【課題】平成23年度の開始から1,543名の養成を行っているが、肝疾患Coとして活動している者の割合が55%（暫定）に留まっており、人材を十分に活用できていない。 ◆院内連携（陽性者紹介）実施率（県調査）調査施設数：5 <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> <tr> <td>実施率</td> <td>40% (2/5)</td> <td>80% (4/5)</td> <td>40% (2/5)</td> </tr> </table> 【課題】肝疾患専門医療機関において、院内検査で肝炎ウイルス陽性と分かった患者が肝臓専門医に紹介されず、適切な精密検査や治療を受けられていない可能性がある。	年度	H29	H30	R1	R2	件数	797件	536件	488件	325件	項目	対象者数	受診確認者数	受診確認率		2,684人	897人	33.1%	項目	新規養成	継続研修		117人	261人（うち活動者割合：55.0%）	年度	R1	R2	R3	実施率	40% (2/5)	80% (4/5)	40% (2/5)	1 患者に対する肝炎・肝がん等治療費助成 2 肝炎ウイルス検査後のフォローアップ体制の充実 3 肝疾患相談体制の充実 4 肝炎医療に携わる人材育成 5 事業主に対する周知	④肝疾患患者フォローアップシステム登録者の受診確認率 ⑤ひろしま肝疾患コーディネーターの活動実施率 ⑥専門医療機関における院内連携（陽性者拾い上げ）実施率
年度	H29	H30	R1	R2																																
件数	797件	536件	488件	325件																																
項目	対象者数	受診確認者数	受診確認率																																	
	2,684人	897人	33.1%																																	
項目	新規養成	継続研修																																		
	117人	261人（うち活動者割合：55.0%）																																		
年度	R1	R2	R3																																	
実施率	40% (2/5)	80% (4/5)	40% (2/5)																																	

